

人とまちをつなぎ、未来へつなぐ

淀川大橋100周年

YODOGAWA Bridge 100th ANNIVERSARY 1926-2026

架設当初



1926年、淀川に架かる。

大正15年(1926年)8月25日、淀川大橋が開橋。
阪神間の発展を支え、人やモノの流れをつないできました。

現在



1926-2026
淀川大橋

100th
since 1926

これからも、未来のために。

計画的な点検と修繕により橋を守り続け、100年の歴史を未来につなぎ、
まちと人の笑顔を支える安全・安心な橋であり続けます。

国道2号

淀川大橋



次の100年へ。

大阪国道事務所
ホームページ



人とまちをつなぎ、未来へつなぐ

淀川大橋100周年

YODOGAWA Bridge 100th ANNIVERSARY 1926-2026

供用開始 : 1926 (大正15) 年

橋 長 : 724.5m

上部工 : 【中央径間】 鋼6径間単純上路式ワーレントラス橋
【側径間】 鋼12径間単純鉸桁橋

下部工 : 【中央径間】 円柱橋脚
【側径間】 控え壁式橋台、小判型橋脚

交通量 : 30,004台/日 (R3全国道路・街路交通情勢調査)



国道2号

淀川大橋



次の100年へ。

大阪国道事務所
ホームページ



人とまちをつなぎ、未来へつなぐ

淀川大橋100周年

YODOGAWA Bridge 100th ANNIVERSARY 1926-2026

淀川下流部は、1896(明治29)年から1910(明治43)年にかけて実施された淀川改良工事により、川幅500mを超える直線的な放水路(現在の淀川)へと改修されました。

この改修にあわせ、1908(明治41)年に西成大橋が架設されましたが幅員が約5.5mと狭く、阪神間の発展に伴う交通量の増加により、道路拡幅の必要性が高まりました。

こうした社会情勢を受け、大阪府は1919(大正8)年に兵庫県との協議を経て、阪神国道(現国道2号)の改修事業に着手しました。

事業は途中で阪神電気鉄道の軌道敷設の計画を取り入れながら進められ、1926(大正15)年に完成いたしました。

淀川大橋は、西成大橋の架け替え橋梁として同年に架設されました。当時は、関東大震災(1923(大正12)年)直後であったことから耐震設計の見直しが行われ、橋桁には国産材やイギリスなどから輸入した鋼材が使用され、その規模は阪神国道改修事業区間において最大の規模を誇りました。

供用を始めた淀川大橋は、大阪大空襲(1945(昭和20)年)や兵庫県南部地震(1995(平成7)年)などの被災を乗り越え、1975(昭和50)年には軌道撤去に伴い車道の4車線化が行われました。

さらに、架設から90年を迎えた2016(平成28)年には老朽化に対応するため、床版を取り替えるリニューアル工事に着手しました。

この工事では、コンクリート床版を鋼床版へ取り替えることで上部工の重量を軽減し、下部工への負担軽減と橋梁の耐震性能向上を実現しました。

時代の移り変わりとともにその姿を変えながらも、淀川大橋の橋桁は架設当時のまま今も残され、阪神間の交通を支え続けています。



国道2号

淀川大橋



次の100年へ。

大阪国道事務所
ホームページ



人とまちをつなぎ、未来へつなぐ

淀川大橋100周年

YODOGAWA Bridge 100th ANNIVERSARY 1926-2026

年 度

1919(大正8)	阪神国道改修事業が大阪府で承認
1924(大正13)	淀川大橋の工事に着手
1926(大正15)	淀川大橋の供用を開始
1945(昭和20)	大阪大空襲
1958(昭和33)	淀川大橋の管理が大阪市から建設省に移管
1959(昭和34)	戦時中の損傷に対する橋桁の修繕
1964(昭和39)	東京オリンピック
1969(昭和44)	日本万国博覧会(大阪万博)
1975(昭和50)	軌道敷きの撤去・車道の4車線化
1980(昭和55)	歩道の拡幅(推定)
1981(昭和56)	落橋防止対策として橋桁をプレートで連結
1993(平成5)	老朽化による損傷に対する橋桁の修繕
1994(平成6)	兵庫県南部地震、被災により損傷した支承の取替
2004(平成16)	落橋防止対策として落橋防止・変異制限構造を設置
2005(平成17)	日本万国博覧会(愛知万博)
2011(平成23)	東日本大震災
2012(平成24)	笹子トンネル天井崩落事故
2017(平成29)	淀川大橋リニューアル工事(床版取替等)に着手
2020(令和2)	淀川大橋リニューアル工事(床版取替等)が完了



日本万国博覧会



落橋防止構造の設置

点検結果に応じ、
補修・補強工事を実施



国道2号

淀川大橋



次の100年へ。

大阪国道事務所
ホームページ



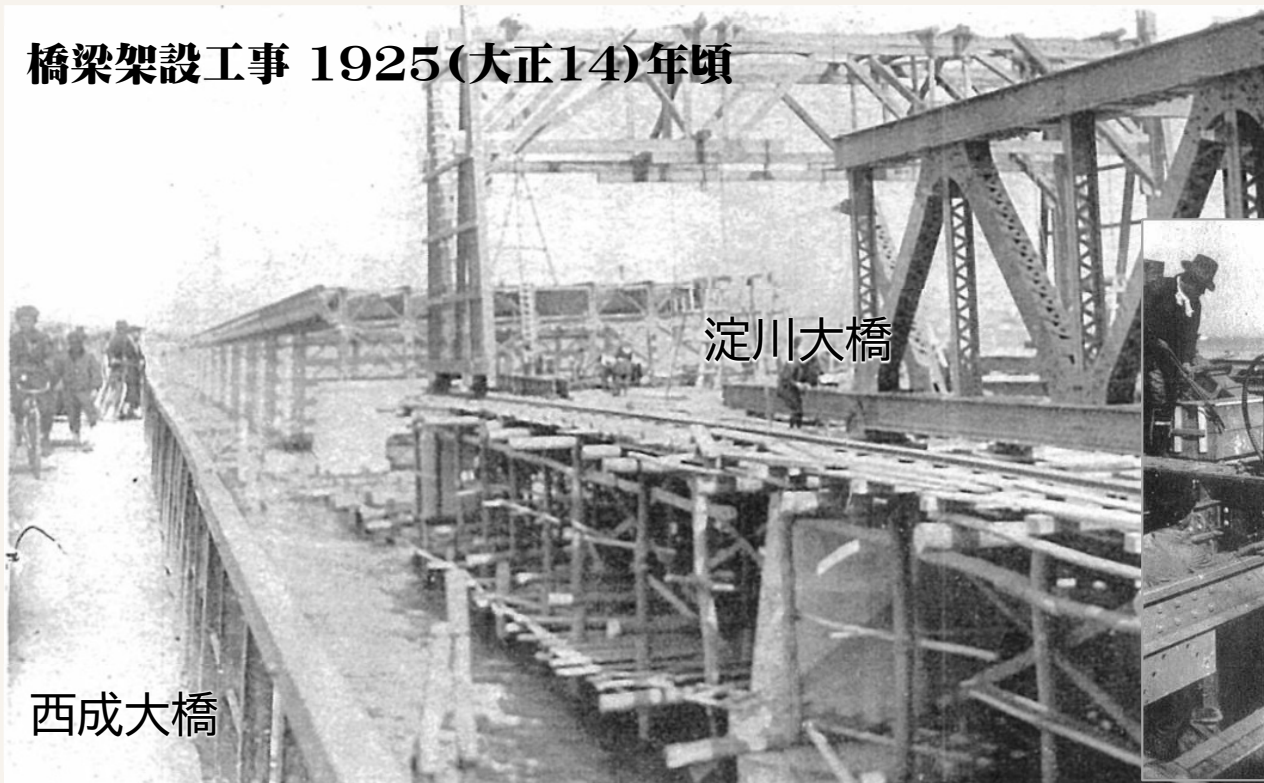
人とまちをつなぎ、未来へつなぐ

淀川大橋100周年

YODOGAWA Bridge 100th ANNIVERSARY 1926-2026

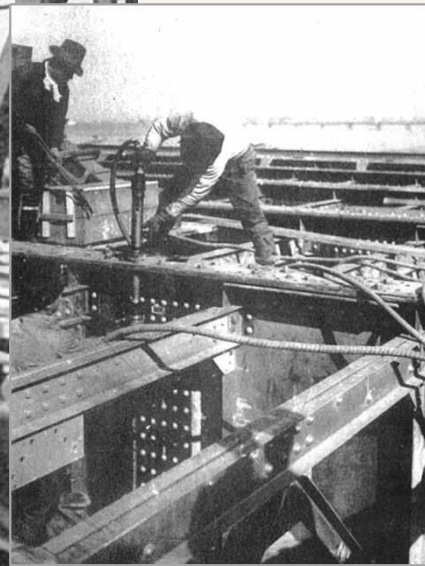
歴史写真（淀川大橋工事中）

橋梁架設工事 1925(大正14)年頃



淀川大橋

西成大橋



淀川大橋の架設工事は
1924(大正13)年10月に
着工しました。

橋梁架設工事 撮影時期不明



淀川大橋

西成大橋



西成大橋 1924(大正13)年頃



国道2号

淀川大橋



次の100年へ。

大阪国道事務所
ホームページ



人とまちをつなぎ、未来へつなぐ

淀川大橋100周年

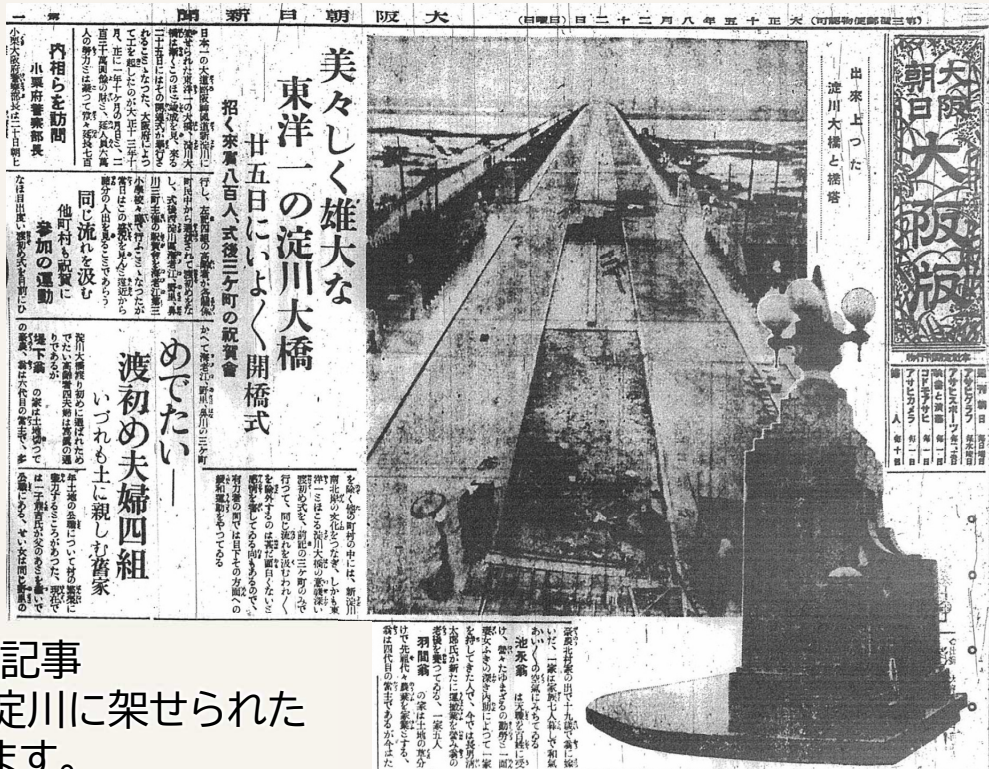
YODOGAWA Bridge 100th ANNIVERSARY 1926-2026

歴史写真（淀川大橋完成時）

開橋式 1926(大正15)年8月25日



開通式に集まった大群衆。



淀川大橋開通を知らせる新聞記事
「日本一の大道路阪神国道新淀川に架せられた
東洋一の大橋」と謳われています。



国道2号

淀川大橋



次の100年へ。

大阪国道事務所
ホームページ



人とまちをつなぎ、未来へつなぐ 淀川大橋100周年

YODOGAWA Bridge 100th ANNIVERSARY 1926-2026

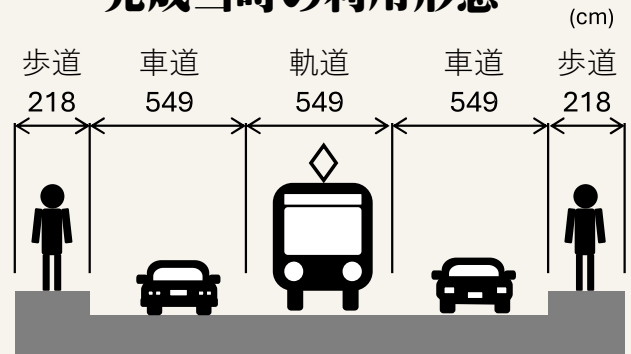
歴史写真（淀川大橋完成後）

1929(昭和4)年頃

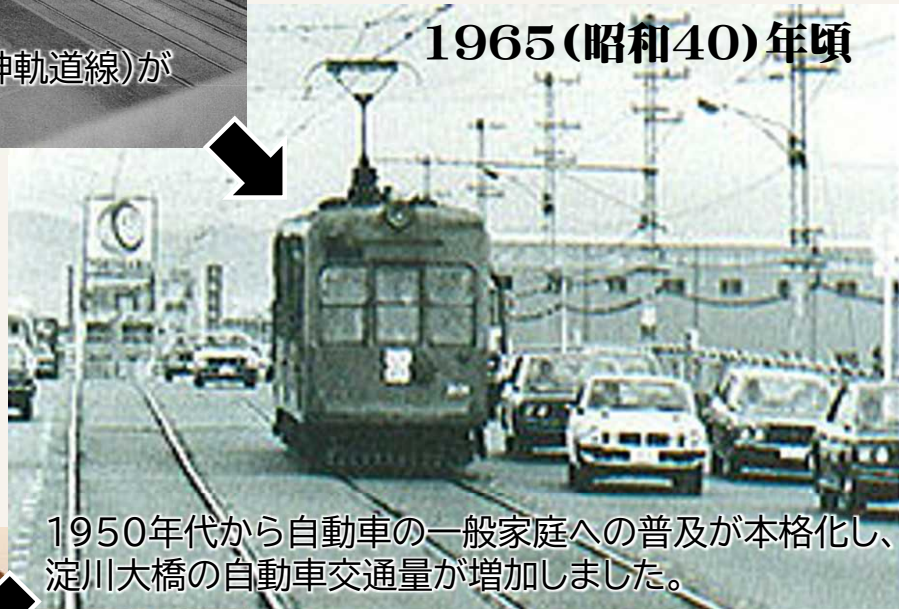


完成当時、中央部分には路面電車(阪神軌道線)が走行していました。

完成当時の利用形態

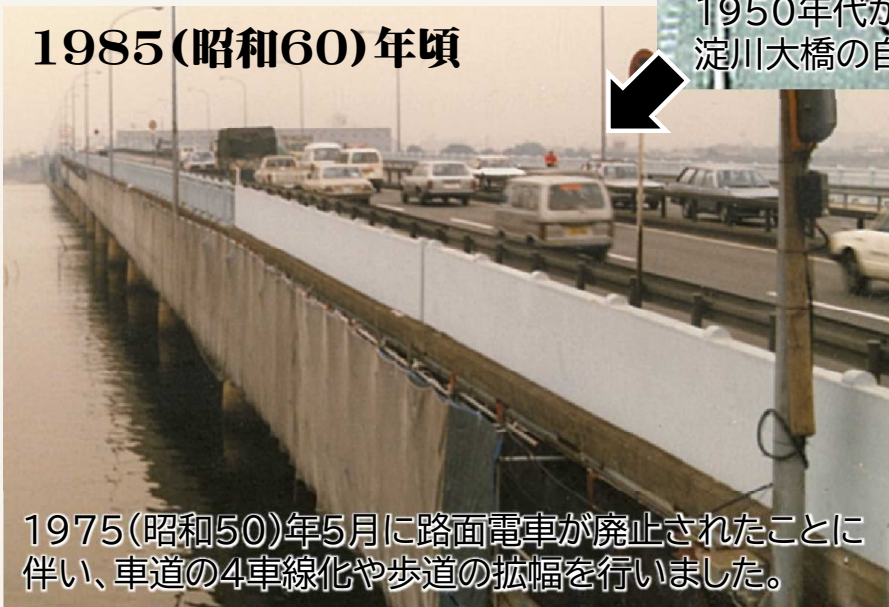


1965(昭和40)年頃



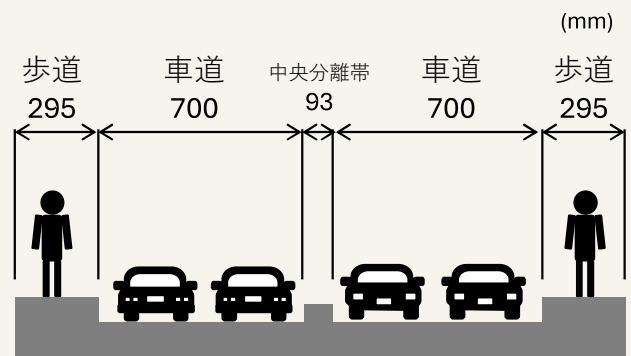
1950年代から自動車の一般家庭への普及が本格化し、淀川大橋の自動車交通量が増加しました。

1985(昭和60)年頃



1975(昭和50)年5月に路面電車が廃止されたことに伴い、車道の4車線化や歩道の拡幅を行いました。

路面電車廃止後の利用形態



国道2号

淀川大橋

次の100年へ。

大阪国道事務所
ホームページ



人とまちをつなぎ、未来へつなぐ

淀川大橋100周年

YODOGAWA Bridge 100th ANNIVERSARY 1926-2026

—大阪大空襲—



大阪大空襲は、1945年3月から8月の8回にわたり、米軍の100機以上の爆撃機による攻撃を受け、多くの被害を受けました。

写真上は、第14径間の上流側と考えられており、同じ構造で復旧されました。

写真左下及び右下は、戦闘機による機銃掃射により銃弾が貫通した銃弾痕です。この銃弾痕は、現在でも確認することができ、空襲の激しさを伝えています。



国道2号

淀川大橋



次の100年へ。

大阪国道事務所
ホームページ



人とまちをつなぎ、未来へつなぐ

淀川大橋100周年

YODOGAWA Bridge 100th ANNIVERSARY 1926-2026

一点検

橋梁の点検は、道路巡回による日常点検や5年周期で実施する定期点検、災害や事故等の発生に伴う緊急点検を実施しています。



直接点検



移動足場を用いた点検



1985(昭和60)年の点検の様子

一修繕

橋梁の安全性を確保するとともに、橋梁の長寿命化と維持管理費の縮減を図るため、点検結果に基づく計画的な橋梁修繕を実施しています。

床版下面



コンクリートの剥離が進み、鉄筋が露出している



ポリマーセメントによる断面修復

鋼製部材



形鋼部材が破断



シンセS粒材による部材取替え



国道2号

淀川大橋



大阪国道事務所
ホームページ

